

産総研イノベーションスクール

若手研究人材育成事業

2027年度

イノベーション人材育成コース（PDコース）

公募説明会

説明中はミュートにしてください。
質問のある方は、**チャット**に**入力**するか、
説明終了後に**手を挙げて**ください。

特定国立研究開発法人



理化学研究所



国立研究開発法人 物質・材料研究機構
National Institute for Materials Science



産総研

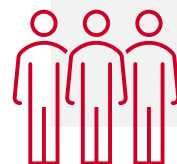


文部科学省



経済産業省

Ministry of Economy, Trade and Industry



12,322 名 が研究開発活動を実施

研究職 **2,287** 名

事務職 **691** 名

技術職 **45** 名

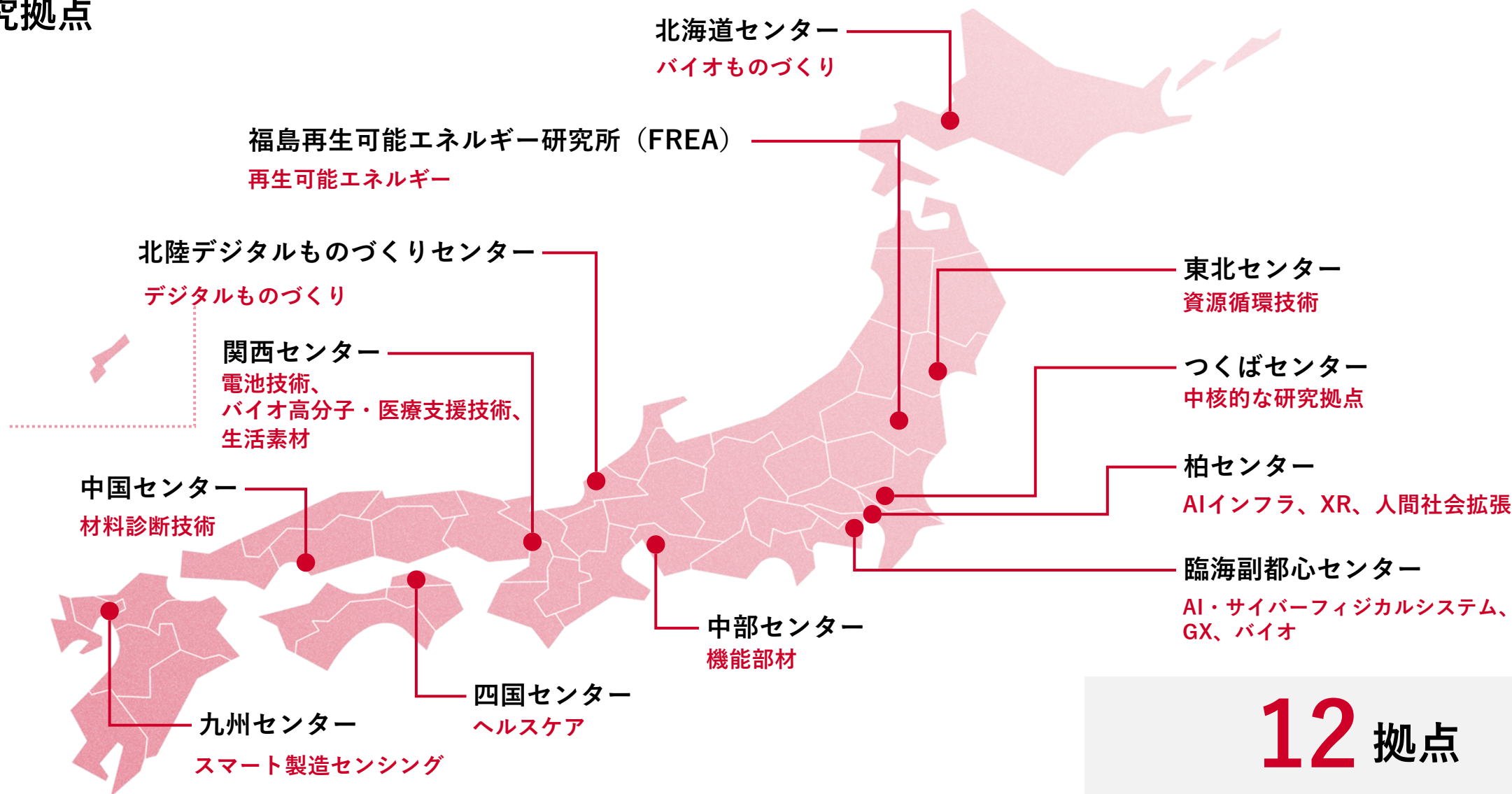
契約職員（ポスドク、テクニカルスタッフ等） **3,217** 名

その他（産学官・国際制度来所者等、役員、顧問、参与および特定フェロー） **5,896** 名

AIST Solutions社員  **186** 名

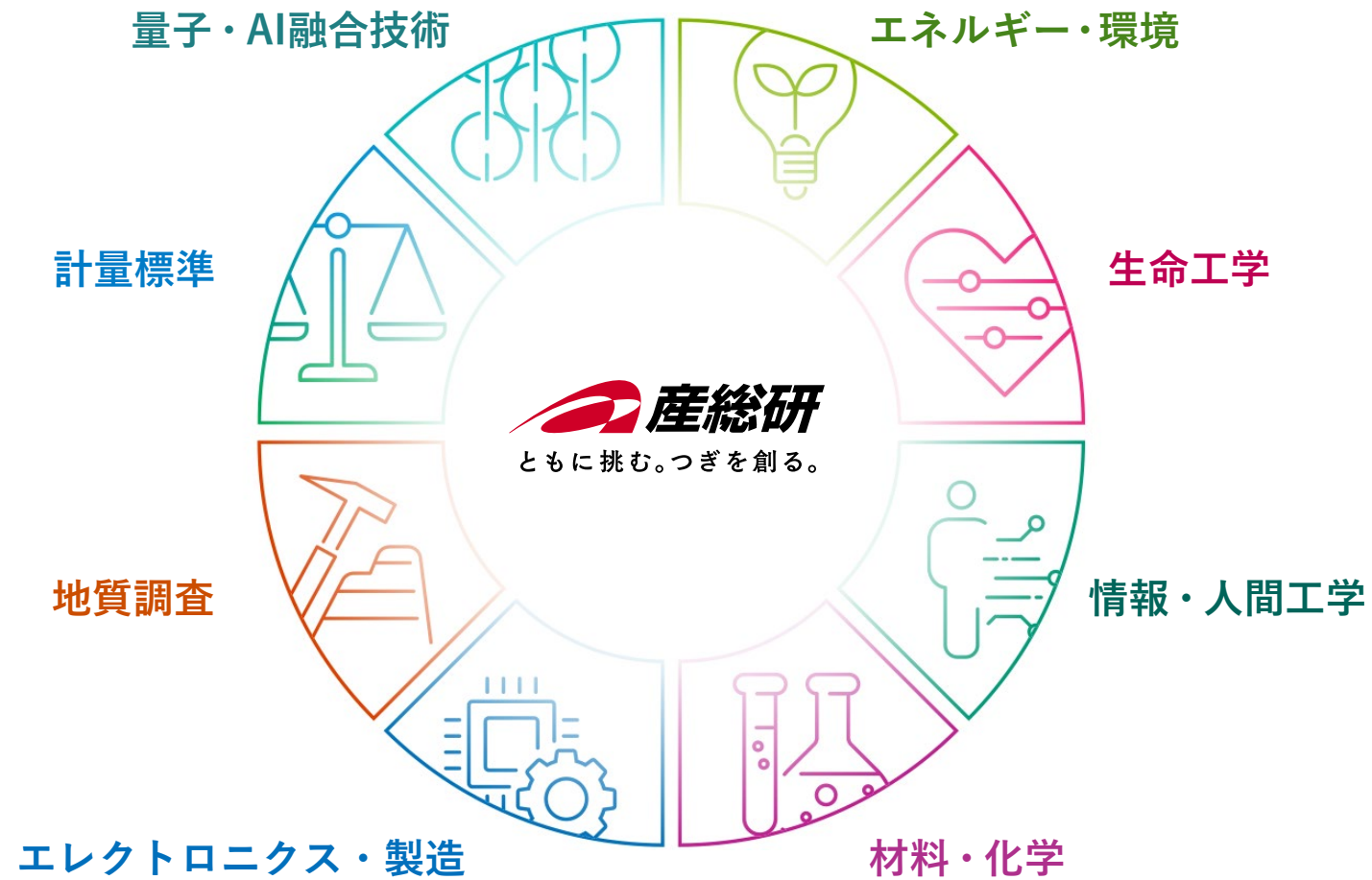
※2025年3月末時点。ただし、産学官・国際制度来所者等については2024年度の実績

研究拠点



12 拠点

■ 多様な研究分野



MISSION

社会課題の解決と 我が国の産業競争力強化



エネルギー・
環境・資源制約への対応



人口減少・高齢化
社会への対応



レジリエントな
社会の実現

- ・産総研の若手研究人材育成事業（産業技術人材の育成：産総研第5号業務）として2008年度より実施、2026年度で20期目
- ・博士人材（ポスドク）や学部4年生・大学院生を対象に、様々な社会課題に挑戦しイノベーションを創出する能力を持つ研究人材を育成するためのコースを開講

ミッション Why（なぜ）

社会が抱える複雑な課題を解決するため、従来の延長線上にはない新たな価値創出——すなわちイノベーションがこれまで以上に求められている。

ビジョン What（何を）

その実現には、多様な視点を統合し、新しい発想を生み出す力を持つ“イノベーション人材”が不可欠である。

バリュー How（どのように）

そこで、研究力だけでなく、連携力・人間力といった能力を体系的に育成し、イノベーションを起こしうる人材を育てる。

2種類のコースと育成実績

イノベーション人材育成コース（PDコース）

ポスドク向け

待遇：産総研特別研究員（ポスドク）として雇用、研究費支給

内容：講義・演習 + 産総研での研究 + 企業研修

例年
秋に公募

4月入校
3月修了

1年間の
コース

研究基礎力育成コース（DCコース）

学部4年生・大学院生向け

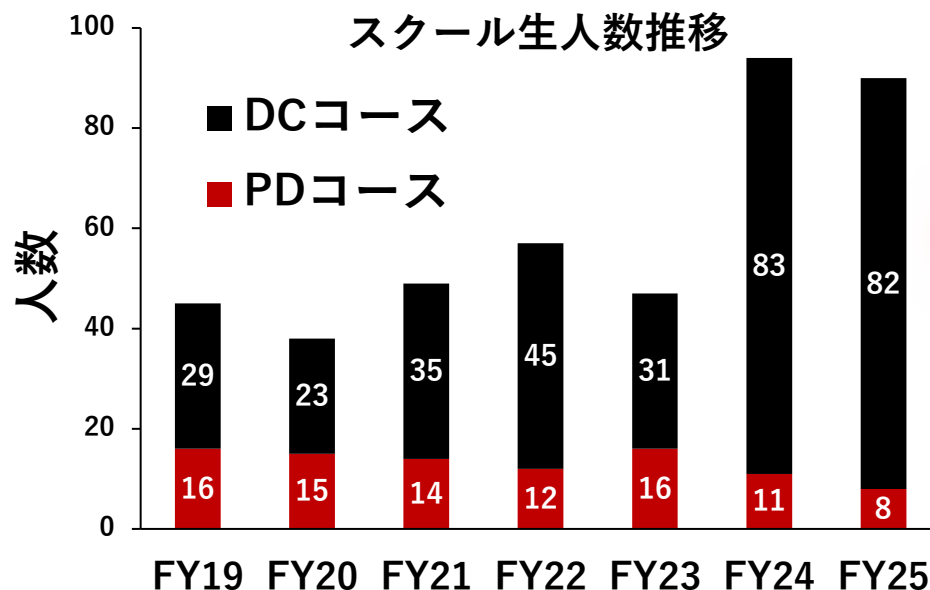
待遇：産総研の技術研修員として受け入れ（参加費無料）、旅費支給

内容：講義・演習（オンライン）+ 産総研での研究（希望者のみ）

例年
初夏に公募

10月入校
3月修了

半年間の
コース

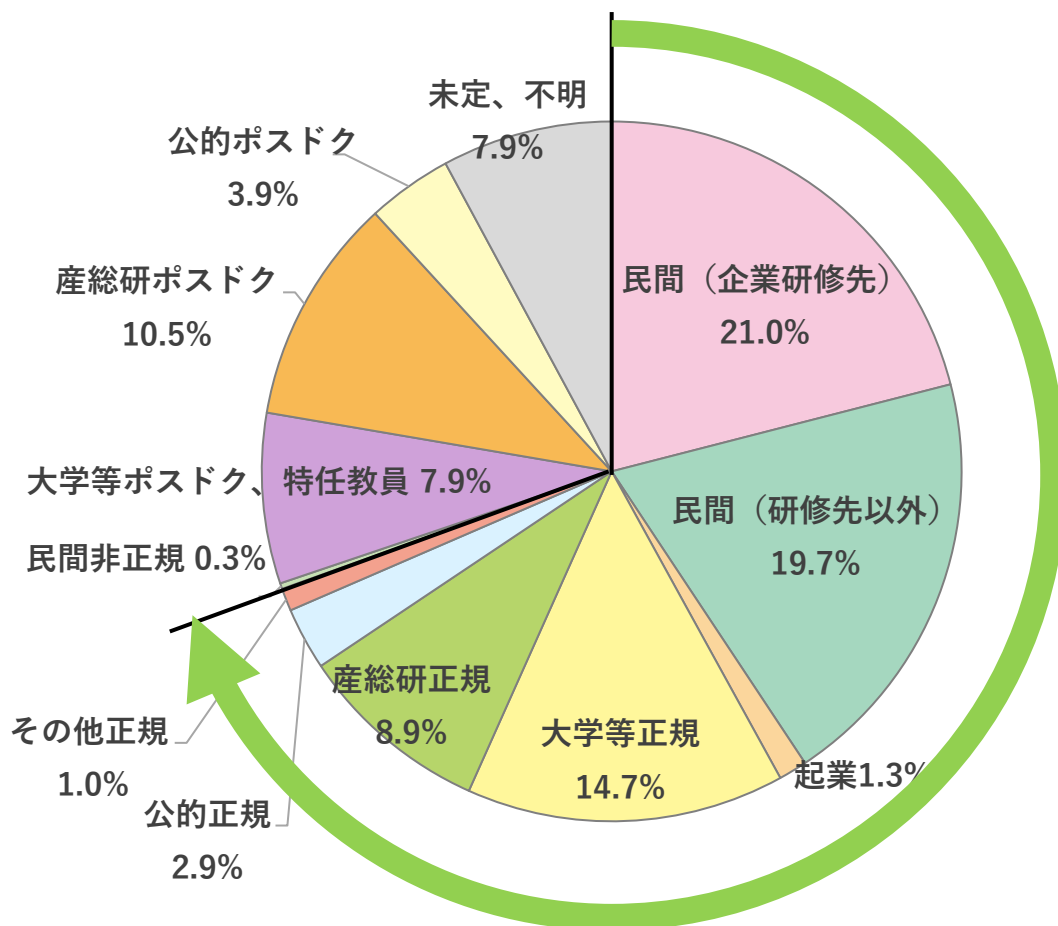


19期（2025年度）までに
累計900名以上を育成

修了生による講義や同窓会を通じて
縦のつながりも



1～18期生就業状況（381名）



高い正規就業率

正規就業率：約**70%**

民間企業への就職率：約**41%**

大学・公的機関への就職率：約**27%**

参考：文科省NISTEP調査（2024年3月）

2021年度在籍したポストク（13657人）

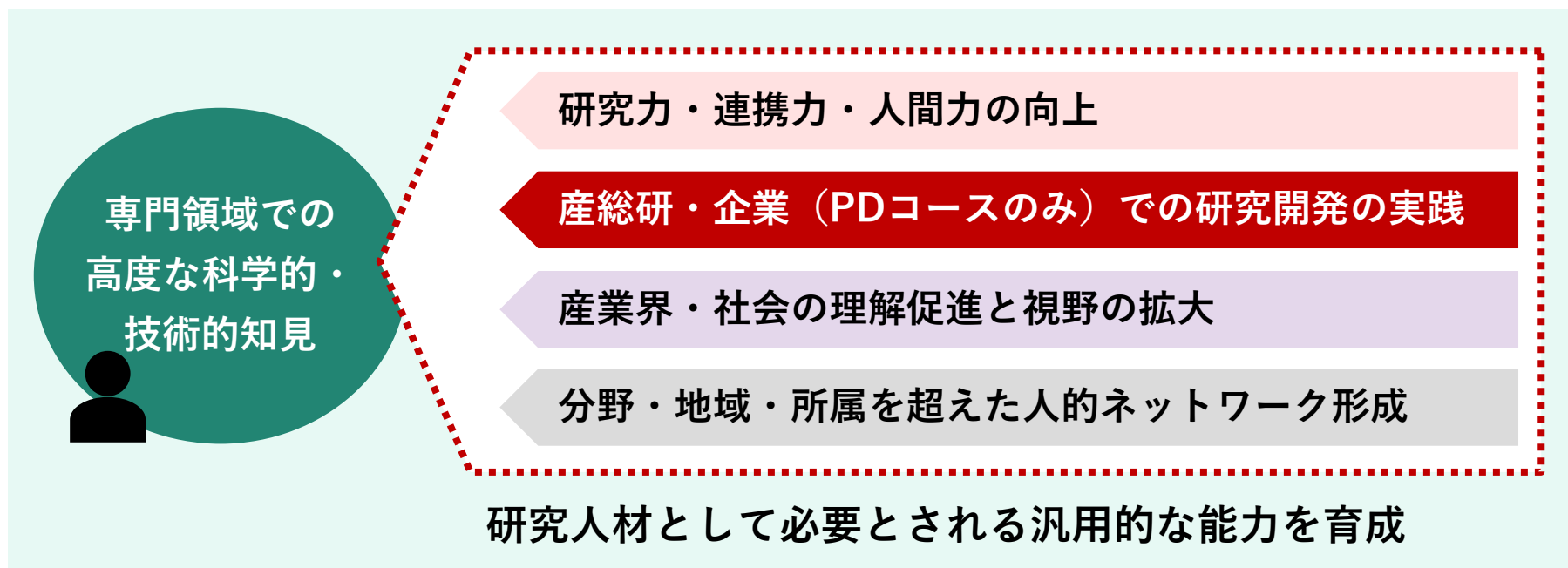
2022年4月の所属先

大学以外の研究・開発職：3.7%、大学：9.8%

研究補助・技能者など：2.3%、その他：15.9%

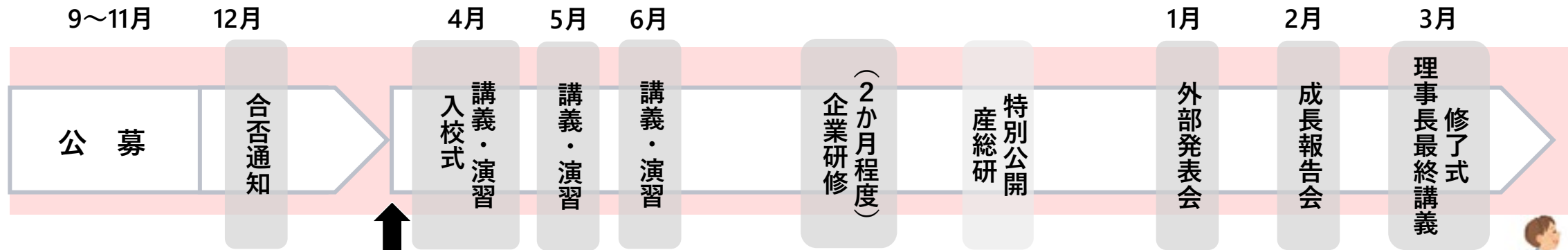
民間企業への就業率：約**9%**

ポストク継続：約**68%**



企業・アカデミアをはじめ、社会の多様な場で
活躍できるイノベーション人材へ

PDコースのスケジュール：4月からの1年間コース



産総研特別研究員
として雇用

講義・演習 (全15日)

受講
(対面形式)



演習・
ワーク

- ・ 外部発表会
- ・ 成長報告会



即戦力となる
研究人材へ

産総研
での研究



企業研修
(2か月程度)



- 1 産総研での研究実施
- 2 講義・演習の受講とレポート提出
- 3 企業研修

希望分野の産総研研究者の指導の下、所内ファシリティを活用して研究を実践



G-QuAT

つくば中央

量子コンピュータと
スーパーコンピュータの
ハイブリッド化



SCR

つくば西

国内公的研究機関では
最大規模の
スーパークリーンルーム



MPI

中国センター



導入例 ナノスケール赤外顕微鏡
(AFM-IR)：世界最高の空間分解能
で構造解析可能な装置

中部センター



セラミックス・合金拠点

導入例 噴霧凍結造粒装置：
国内に一台しかない造粒装置

つくば中央



先進触媒拠点

導入例 多数の並列フロー反応器を
備えた活性評価装置

バイオものづくり拠点

つくば中央



バイオものづくり
オープンイノベーション拠点

北海道センター



バイオリソース
解析プラットフォーム

FREA

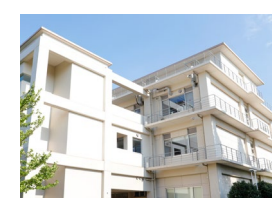
福島再生可能
エネルギー研究所

再生可能エネルギーに
特化した研究拠点



蓄電池研究拠点

関西センター



電池産業基盤の強化に
向けた研究拠点

ABCI

柏センター



AI技術開発に特化した
スーパーコンピュータ

エントリー前に、応募者の「受入責任者」となる産総研の研究者を見つけ、受入れ・テーマ等について合意を得ていただく必要があります。

研究者情報については、産総研の各領域・研究ユニット等のHPをご参照ください。

https://www.aist.go.jp/aist_j/information/organization/research_units/index.html

 エネルギー・環境領域	▼	 生命工学領域	▼
 情報・人間工学領域	▼	 材料・化学領域	▼
 エレクトロニクス・製造領域	▼	 地質調査総合センター	▼
 計量標準総合センター	▼	 量子・AI融合技術ビジネス開発 グローバル研究センター	▼
 実装研究センター	▼		



キーワードから探す場合

産総研：研究成果記事一覧

https://www.aist.go.jp/aist_j/list/l_research_research.html

キーワード等から、産総研公式HPで公表された研究トピックスを検索できます。



場所から探す場合 <つくば以外の地域拠点をご希望の方向け>

産総研：研究拠点

https://www.aist.go.jp/aist_j/information/research_bases/index.html

各地域拠点の研究ユニットや研究グループ等を参照できます。



研究者名から探す場合

Researchmap

<https://researchmap.jp/researchers>

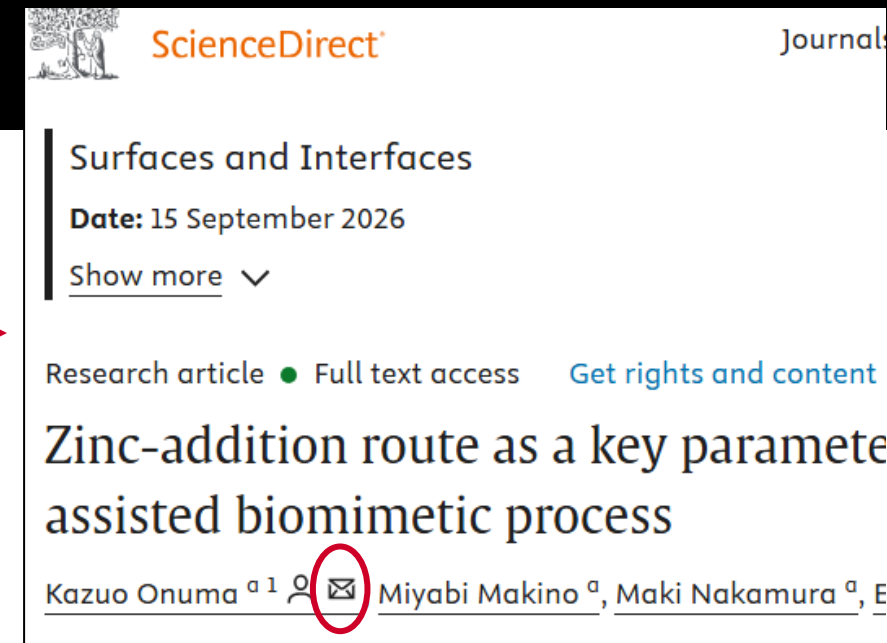
科学技術振興機構のデータベース上で、研究者の活動状況を参照できます。

研究者への連絡

連絡先（メールアドレス等）の探し方

- ・ 研究者・所属グループのHP
- ・ 公表されている論文の著者情報
- ・ 学会予稿の演者情報
- ・ 所属ユニット（部門等）や研究領域のHPの問合せ窓口

研究者やその所属部門等にコンタクトを取る際は、
自己紹介（現在の所属や研究テーマ）とともに



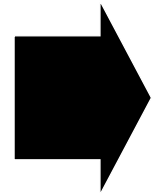
「産総研イノベーションスクール イノベーション人材育成コース
（PDコース）応募に際し、受入れをお願いしたい」

ことを伝えると良いでしょう。

受入責任者が見つからない場合は、事務局にて相談に応じますので

10月末までに事務局(school-saiyou-ml@aist.go.jp)までご連絡ください。

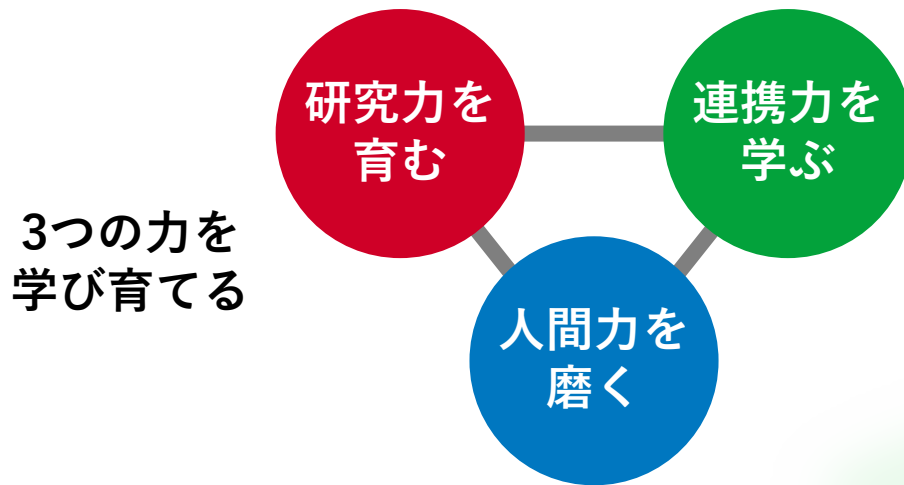
1 産総研での研究実施



2 講義・演習の受講とレポート提出

3 企業研修

「研究力」、「連携力」、「人間力」の3つの力を醸成する講義・演習



PDコース

全15日（4～6月の各月5日）

31～33コマ程度

対面形式

受講後、レポートを提出

やむを得ない事情で欠席
の際は欠席届を提出
⇒後日オンデマンドで受講
⇒受講レポート提出

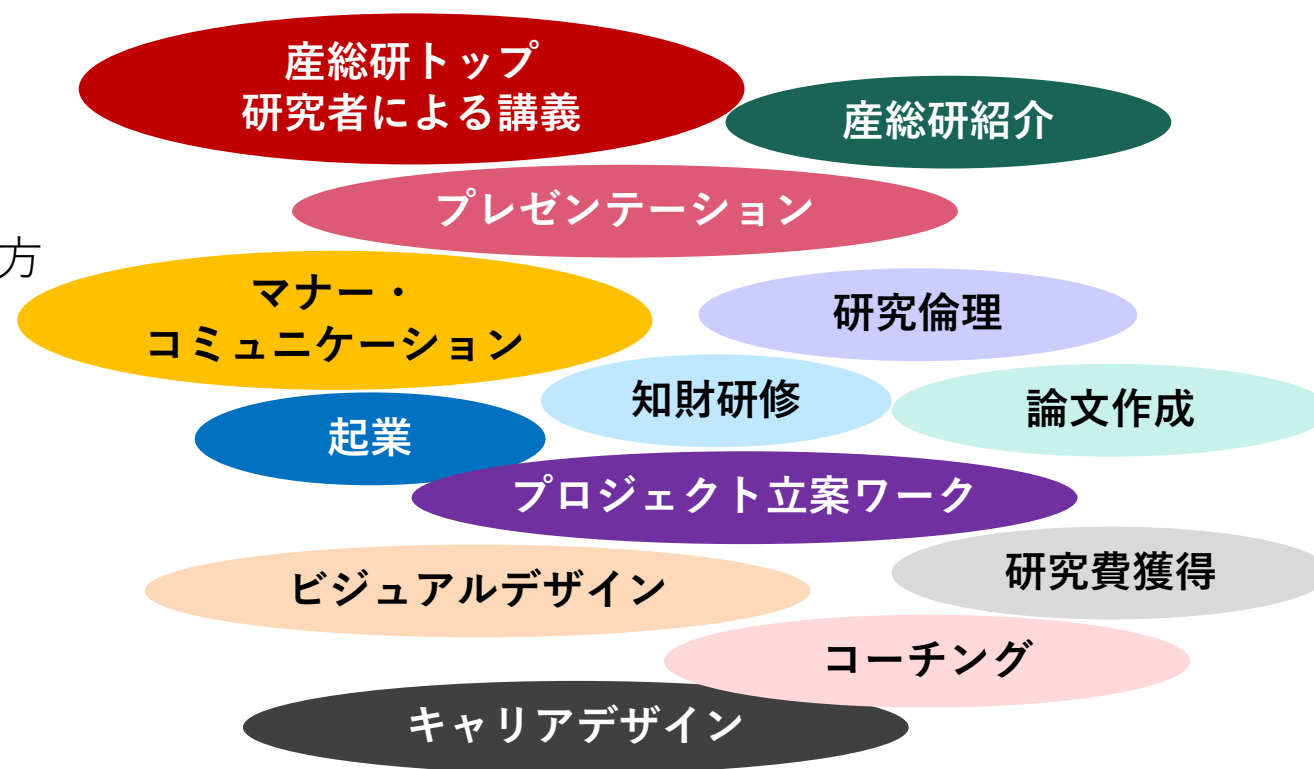
講義・演習のねらい

1. 自立した研究者としての専門性を深化させるとともに、汎用的に活用可能なトランスファラブルスキルを涵養する
2. 博士人材として、アカデミアに限らず多様な社会的場面で活躍するための実践的能力を育成する
3. アカデミア以外のキャリアパスに関する知見を提供し、次の就職先や将来的な方向性を主体的に考察する機会を与える

トランスファラブルスキル養成のためのカリキュラム

2026年度の講義題目（一部）

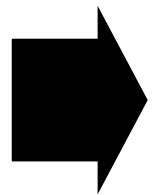
- 起業マインドの醸成
- 社会課題解決と研究テーマの共通価値
- 社会実装を目指した研究プロジェクトの作り方
- イノベティブなプロジェクトの作り方
- プレゼン塾
- ビジネスプロデュース論
- 法・社会から見た研究
- 研究DX研修
- 研究発表のためのビジュアルデザイン
- 研究者にとっての知的財産
- Innovative Leadership研修
- URAでの博士人材のキャリア
- 研究者のメンタルヘルスケア
- 研究者倫理
- マナー・コミュニケーション研修
- 博士人材のキャリアデザイン



自己紹介、交流企画（ゲーム等）、講義振り返り
スクール生自主企画（懇親会等）…

1 産総研での研究実施

2 講義・演習の受講とレポート提出

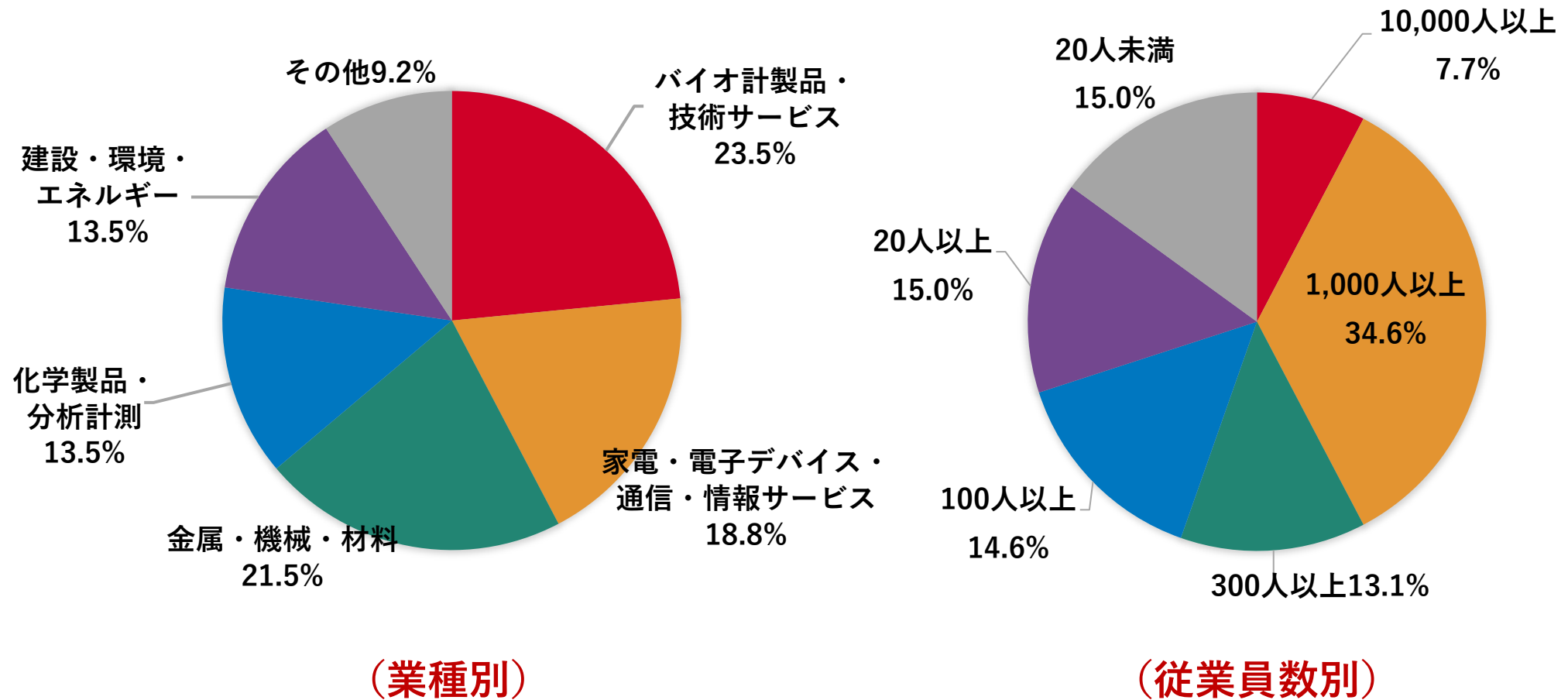


3 企業研修

- 2か月程度、企業において研修を実施
- 企業における課題設定、基礎から製品化研究の実態、生産・品質管理等を現場で経験
- 産総研の契約職員の身分を保持したまま、出張として研修を実施
- 旅費・滞在費は事務局負担
- スクール生の専門性・キャリアプラン等に基づき研修先を調整
- 企業の研究開発方針や業務計画、スクール生の専門性・スキル等を考慮して研修内容を決定

研修先企業の特徴

2025年度（第19期）までの研修先：260社

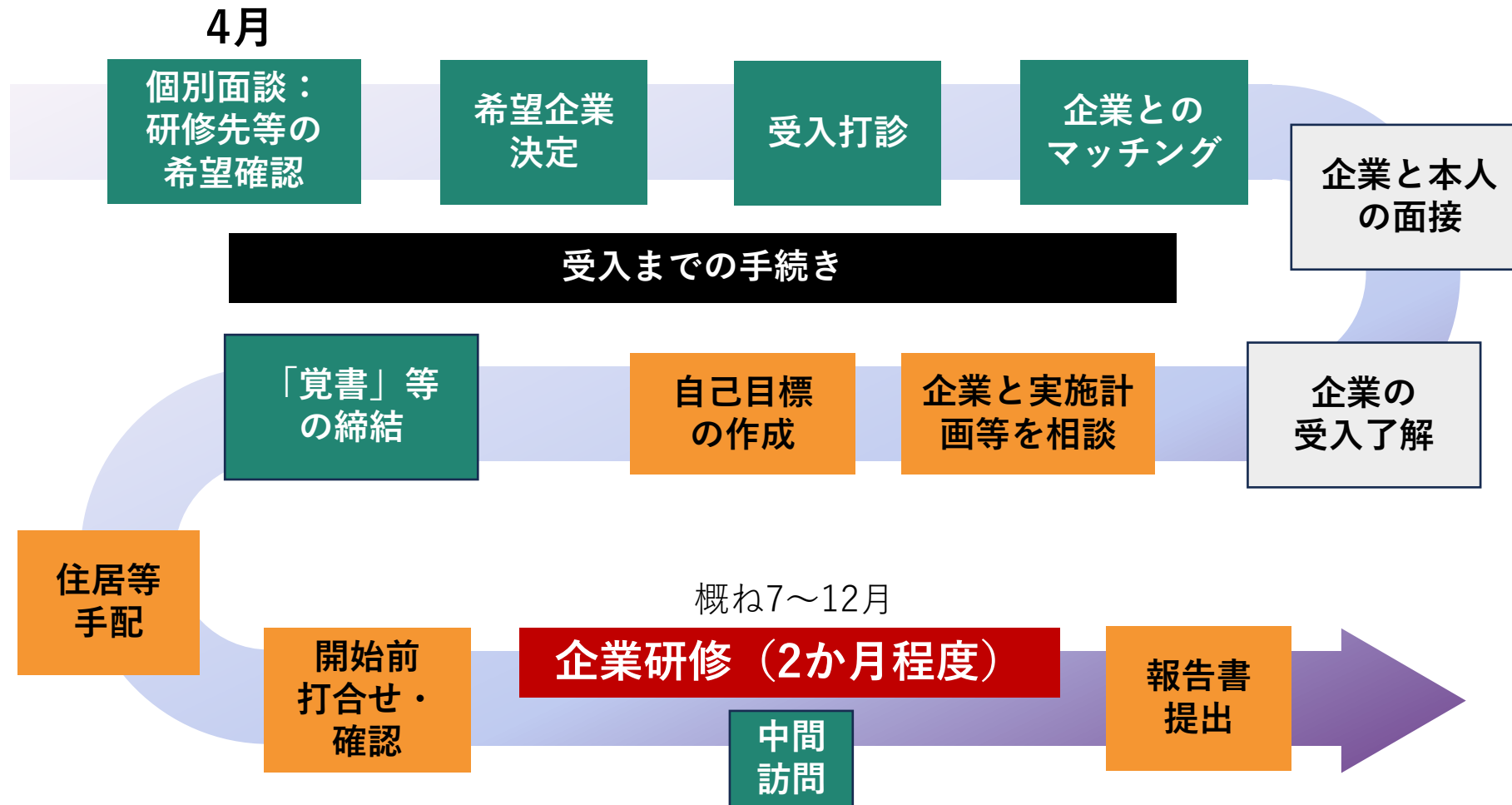


受入企業 からの声

- 専門的知識を活かして、最新の技術や課題について知見を得ることができた
- 研修生の高いモチベーションと積極的な姿勢に、若手社員が大きな刺激を受けた
- 幅広い知識・経験により、実施中のプロジェクトが加速した
- 人材発掘の面で、有効性を感じた
- 産総研とのつながりができ、将来的な共同研究への下地を作ることができた

スクール生 からの声

- アカデミック以外の分野でも博士が活躍できることを実感（特許事務所）
- 顧客視点、コストや製造プロセス、さらには多様なステークホルダーを強く意識した研究が常に求められる事を実感した（素材製造）
- 研修だけの予定が、先方からの申し出で採用。自身に合った職場であることを研修を通じて確認できた（大手測量会社）
- 日常のコミュニケーション、チーム業務、プレゼンテーションの重要性などを実感（食品工業）



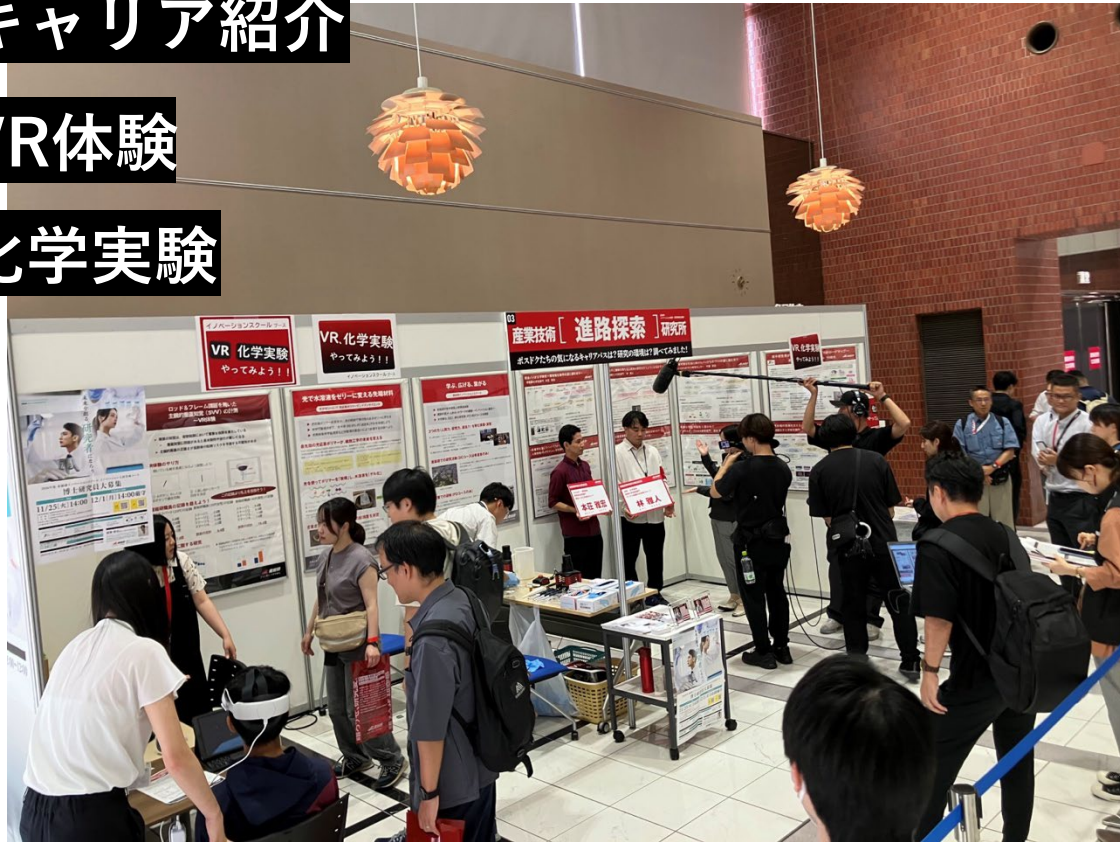
その他、主な企画・行事

進路探索研究所の企画・運営

キャリア紹介

VR体験

化学実験



- ・ VRと化学実験の体験
- ・ 各スクール生のキャリア紹介、博士進学相談
- ・ ニコ生への出演



2026年度の産総研特別公開（つくばセンター）は2026年11月21日

DX推進室長の講義をきっかけとした スクール生からの発案・呼びかけにより実現

工房07/08：粉体秤量・混合



工房11：分散液調製



過去には地域センター見学会の実施例も

外部成果発表会：SATテクノロジー・ショーケース



TECHNOLOGY SHOWCASE
**SAT
テクノロジー・ショーケース
2026**
異分野交流による知の触発
in つくば
最新研究・技術のフリーマーケット

2026年
1月22日 木
つくば国際会議場
入場 料 どもたでも自由に
無料 参加できます

— 特別シンポジウム —
「未来」を描くマテリアル
— 身近なものから〇〇まで —
今回のテーマは、ものづくりを支える根幹技術である「マテリアル」。各分野を牽引する研究者が、暮らしと共に発展してきたマテリアルサイエンスの魅力と、最先端技術が拓く「未来」について語ります。

企画：産業技術総合研究所
産総研

ポスター発表 9:15-18:00
つくばと関連地域での研究成果を顕微鏡できる150件(予定)のポスター発表

■ インデクシング (1分間のポスター概要説明)
9:20-12:30

■ ポスター発表コアタイム
13:00-15:50

「テクノロジーショーケース」はつくばをはじめ首都圏などで活躍する研究者・技術者が、最新の研究成果、アイデア、技術を持ち寄り、相互に披露する異分野交流の場です。

第1部 | 特別講演
第2部 | パネル討論

※背景画像に関する情報はこちら

主催：つくばサイエンス・アカデミー（一般財団法人茨城県科学技術振興財団）
企画・運営：SATテクノロジー・ショーケース2026実行委員会 協力機関：国立研究開発法人産業技術総合研究所
共催：茨城県、茨城県教育委員会、つくば市、つくば市内国立研究開発法人等23団体 後援：文部科学省、経済産業省、環境省等26団体

つくばサイエンス・アカデミー事務局 つくば市竹園 2-20-3 つくば国際会議場内
☎029-861-1206

概要

つくばサイエンス・アカデミー（江崎玲於奈会長）が主催する異分野交流会

参加者

PDコース・DCコースのスクール生

目的

プレゼンテーション能力と異分野コミュニケーション能力の向上

形式

つくば国際会議場での対面形式



2025年度（19期生）
PD・DCコースの82名が参加

PD：5名
DC：77名

4名がプレゼンテーション賞受賞

- ・ベストアイデア賞新分野開拓賞
- ・ベストアイデア賞
- ・ベスト異分野交流賞
- ・学生奨励賞

2026年3月11日 第19期（2025年度）産総研イノベーションスクール理事長最終講義・修了式

産総研つくばセンターとZoomのハイブリッド形式

PDコースのスクール生は現地参加

DCコースからもスクール生代表・レポート賞受賞者ら数名を招待・現地参加



石村和彦理事長による最終講義
「日本の製造業の課題と産総研の
目指すオープンイノベーション」



2025年度修了式での記念写真

公募概要

採用人数 最大15名程度

- 雇用条件**
- ・ 身分：産総研特別研究員（第一号契約職員）
 - ・ 給与：時給制2,500円
 - ・ 雇用期間：1年間（2027年4月1日～2028年3月31日）
 - ・ 試用期間：1か月
 - ・ 更新可能性：なし
 - ・ 勤務時間等：週5日、1日7時間45分、フレックスタイム制
 - ・ 休日：完全週休2日制（土・日）、祝祭日、年末年始
 - ・ 待遇：当所規程により有給休暇制度・通勤手当制度あり、社会保険完備
 - ・ 勤務地：産総研受入責任者が所属する産総研の研究拠点
 - ・ 受動喫煙防止措置に関する事項：屋内禁煙
 - ・ 受入責任者に研究費（育成費）支給、企業研修・スクール行事参加旅費支給

- ・博士の学位を有する、あるいは2027年3月末日までに取得見込みであること
過去に本コースに入校した方は対象外となります。
- ・2027年4月1日において博士号取得後7年以内であること
- ・産総研特別研究員としての雇用歴がある場合、2027年4月1日における通算雇用歴が4年未満であること
- ・産総研受入責任者と研究テーマについて合意していること
- ・日本語で円滑に意思疎通できること（日本語能力試験N2程度以上）
- ・民間企業等におけるイノベーション創出に意欲を有すること
- ・原則として全ての講義・演習、及びスクール行事に参加できること
やむを得ない事情で欠席の場合は事前に届出の上、講義・演習は後日オンデマンドで受講いただきます。
- ・講義・演習の受講レポートを提出できること
修了には受講レポートの提出が必要です。提出されたレポート等は、スクール運営のために講師及び産総研の関係者が閲覧・利用します。
- ・応募書類・個人情報の取り扱い方針に同意できること
- ・本事業の記録、広報、運営を目的とした写真・動画の撮影・利用方針に同意できること

応募書類・個人情報の取り扱い方針

- 応募に際し提出いただく書類及び個人情報については、審査及び本事業の運営に必要な範囲で利用し、応募者の同意なく他の目的には利用しません。
- 提出いただいた応募書類は**返却いたしません**。
- 審査終了後、合格者の応募書類を除く全ての応募書類について責任を持って破棄いたします。

写真・動画の撮影・利用方針

- 本事業では、記録や広報、報告、運営等を目的に、写真・動画の撮影・利用（産総研及びイノベーションスクールの公式ウェブサイト、SNS、報告書等への掲載を含む）を行います。
- 個人を識別できない写真・動画（講義室後方からの写真等）については、事前のお声がけなく撮影・利用いたします。
- 個人を識別可能な写真・動画（集合写真等）については、原則として事前にお声がけの上撮影します。個人を識別可能な写真・動画の撮影・利用を希望されない場合は、事務局にお申し出いただき、被写体とならないよう対応いただきます。

応募～審査の流れ・手続き

二段階審査の流れ（1）



エントリー
(Forms登録)

エントリーには産総研受入責任者の産総研IDが必要です。

11月24日（火）14:00〆切

審査用書類

翌日までに事務局
よりメール連絡

一次審査：書面審査

最終提出期限：11/26

エントリー後に届くメールの指示に従い提出

- ① 産総研受入責任者の受入承諾フォーム
- ① 履歴書（*）
- ② 自己アピール票
- ③ 特定類型該当性に関する申告書（*）
- ④ 博士の学位を証明する書類（学位記の写し等）、または取得予定証明書、あるいは学位取得予定を記した指導教員署名入り書類（様式自由）（*）

様式①～③をPDコース公募サイトよりダウンロードして準備

⇒④を含め1つのpdfに統合して提出

例：サンソウタロウ.pdf

* は印刷・署名後pdf化

エントリー後に届くメールに、受入承諾フォームが含まれています。

応募者は、受入責任者より入力済み
(応募者氏名2か所と最終3行)
フォームをメールで受け取り、
それを転送する形で提出ください。

提出時の注意点：

- ・メールの履歴を残す
- ・ccに受入責任者

-----①産総研受入責任者の受入承諾フォーム-----

国立研究開発法人 産業技術総合研究所
イノベーション人材部長 宮崎 歴 殿

1. 応募者への支援及び指導等について

【 】氏が産総研イノベーションスクールイノベーション人材育成コース（PDコース）のスクール生として採用された場合の研究テーマ、勤務地等について合意済みであり、応募を支援いたします。採用後は、受入責任者として、下記の者の業務管理・研究指導、ならびに必要な事務手続き（雇用手続き、育成費の管理・執行を含む）を実施するとともに、講義・演習、企業研修、及びスクール行事（入校式、外部発表会、成長報告会、修了式等）への参加を支援いたします。

2. ユニット長等の承認とユニット内での情報共有について

【 】氏が産総研イノベーションスクールPDコースのスクール生として採用された場合、産総研特別研究員として雇用されること、私が受入責任者として前項に記載の役割を果たすことについて、上長（ユニット長含む）の承認を得ています。また、採用が決定した場合に必要な事務手続き（雇用手続き等）について、ユニット内関係者に情報共有し、合意を得ています。

（西暦） 年 月 日

ユニット名：

受入責任者氏名：

印刷して自筆署名
(貼り付け不可)
⇒ スキャンしPDF化

- 白筆署名のこと（タイプや貼り付け不可）
- この枠を削除し、印刷後の用紙に白筆署名の上、スキャンしてください。

ふりがな:

氏名:

1. 今までの研究内容と成果

2. 採用後に産総研で実施予定の研究内容(4～6行程度)

3. 志望動機・将来ビジョン

(**ページ半分程度**。企業研修の希望業種・企業があれば記載のこと。)

- ・ 1.から3.までで1ページ 厳守
- ・ 4.の業績リストについてはページ追加可
- ・ 1.には図表（カラー可）使用可、4.の業績リストからの引用可（例：業績①-2）
- ・ 3.の分量はページ半分程度とすること。
- ・ この枠を削除してください。

4. 業績リスト

応募者名に下線を付すこと。ページと業績番号（3）、4・・・）を適宜追加し、現在から順に過去にさかのぼり記入
該当する業績がない場合にも項目は削除せず「なし」と記載、記載すべき内容（青字の説明参照）が含まれていれば
記載順変更可、青字の説明は削除不要

- ① 原著論文 題目、全著者名（責任著者に*）、雑誌名、巻、頁、発表年、査読有無、DOIを記載のこと。アクセプト前・出版前の場合は、発表年の代わりに、投稿日・アクセプト日等を記載のこと（記載例：2026年●月●日投稿）。投稿前の論文は記載不可。
1)
2)
...
- ② 口頭・ポスター発表（登壇のみ） 講演題目、全講演者名、学会名、会場、発表年月日、口頭・ポスターの別を含めること
1)
2)
...
- ③ 招待・依頼講演 講演題目、全講演者名（複数の場合は登壇者に○）、学会名、会場、発表年月日を含めること
1)
2)
...
- ④ 受賞・表彰等 賞名、受賞業績タイトル、受賞者名、受賞年月日を含めること
1)
2)
...
- ⑤ 研究費・奨学金などの獲得実績 資金提供機関、制度名、受給者名（複数の場合は役割も）、金額、期間を含めること
1)
2)
...
- ⑥ 上記以外にアピールすべき実績（特許、総説・解説、Proceedings、著書、刊行物、調査報告等）
誌上発表に準じた内容（特許においては発明者、出願人、出願日）を記載のこと
1)
...

書類③ 特定類型該当性に関する申告書



ともに挑む。つぎを創る。

③ 特定類型該当性に関する申告書

公募要項の別添2「特定類型該当性に関する申告書提出のお願い」を確認後、ご記入ください。

輸出管理様式 2 (2025 1009版)

(応募者用)

外国為替及び外国貿易法第25条第1項及び第2項の遵守のための

特定類型該当性に関する申告書

国立研究開発法人 産業技術総合研究所 御中

記入日 西暦 年 月 日

住所

氏名

(署名)

・自筆署名のこと(タイプや貼り付け不可)
・この枠を削除して印刷後、自筆署名の上、**スキャンしてください。次頁も含めて提出ください。**

私は、貴法人が「外国為替及び外国貿易法」

第4条第4項までの規定に基づき許可を要する技術を提供する取引又は行為について

(平成4年12月21日付4貿易第492号。以下「役務通達」という。)の1(3)

サの、②又は③に該当する居住者に対して技術の提供を行う場合は、外国為替及び外国貿易法(以下「外為法」という。)第25条第1項及び第2項に基づき経済産業大臣の許可

が必要になる可能性があることを理解し、貴法人の法令遵守のため、役務通達の1(3)

サの、②又は③に該当するかどうかについて、下記のとおり申告いたします。

類型① 外国法令に基づいて設立された法人その他の団体(その本邦内の支店、出張所その他の事務所を除く。以下「外国法人等」という。)又は外国の政府、外国の政府機関、外国の地方公共団体、外国の中央銀行並びに外国の政党その他の政治団体(以下「外国政府等」という。)との間で雇用契約、委任契約、請負契約その他の契約を締結しており、当該契約に基づき当該外国法人等若しくは当該外国政府等の指揮命令に服する又は当該外国法人等若しくは当該外国政府等に対して苦労注意義務を負う者

類型② 外国政府等から多額の金銭その他の重大な利益(金銭換算する場合に当該者の年間所得のうち25%以上を占める金銭その他の利益をいう。)を得ている者又は得ることを約している者

類型③ 本邦における行動に関し外国政府等の指示又は依頼を受ける者

【個人情報の取り扱いについて】

本申告書で取得した情報は、外為法に基づく安全保障輸出管理の適正な実施及び弊所内の適正な業務遂行のために、以下の用途にのみ使用します。

・外為法に基づく安全保障輸出管理の適正な実施。具体的には、特定類型該当者に対する技術提供の管理。この際、特定類型該当者であるという情報が「特定類型該当者に対する技術提供を管理する者」へ提供されます。なお「特定類型該当者に対する技術提供を管理する者」には、弊所外部(研究連携の相手方等)の者も含まれます。経済産業省への許可申請が必要になる場合には、特定類型該当者であるという情報が、経済産業省へ提供されます。

・弊所内部での適正な業務遂行に必要な対応。具体的には、特定類型該当性の法的判断、兼業申請等との整合性の確認、みなし輸出管理が困難な場合の対応等。この際、特定類型該当性に関する情報が弊所内部の関係部署等へ提供されることがあります。

・提出いただいた申告書は返却いたしません。不採用者の申告書は、弊所規程に則り除却いたします。

以上

2頁目も含めてpdf化

類型① 外国法人等や外国政府等と雇用契約等を締結している

類型①



類型② 外国政府等から年間所得の25%以上の利益を得ている又は得ることを約束している

類型②



類型③ 日本における行動に関して外国政府等から具体的な指示や依頼を受けている

類型③



どちらかにチェック

私は、貴法人に採用となった場合、雇用開始の時点において

☐ 以下に記載の類型に該当する可能性があります。

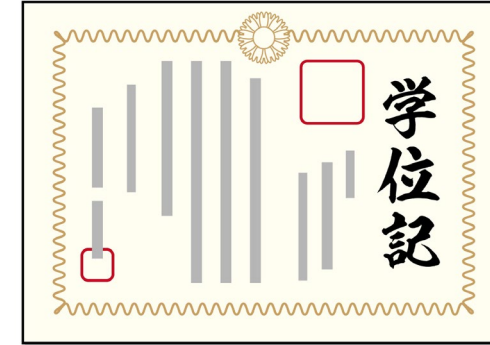
(☐ 類型①に該当 ☐ 類型②に該当 ☐ 類型③に該当) ※複数選択可能

(外国法人等や外国政府等の名称 及び 該当する理由)

☐ 以下に記載の類型のいずれにも該当する可能性はありません。

なお、今後、以下類型に該当することとなった場合は、改めて自己申告いたします。

- 博士の学位を証明する書類（学位記の写し等）
or
- 取得予定証明書（3月末までに取得見込みの方）



（取得予定証明書を発行できない場合）

- 学位取得予定を記した指導教員の自筆署名入り書類（様式自由）



（参考例）

2026年11月23日

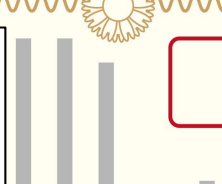
産総研イノベーションスクール
若手研究人材育成事務局御中

下記学生が2027年3月に博士（工学）の学位を取得見込みであることを証明します。

所属：〇〇大学大学院工学研究科〇〇専攻博士後期課程3年
氏名：産総 花子

〇〇大学大学院工学研究科〇〇専攻
教授 筑波 太郎
署名

自筆署名

団体（その本邦内での支店、出張所等）又は外国の政府、外国の政府機関、政党その他の政治団体（以下「外国請負契約その他の契約を締結しておる外国政府等の指揮命令に服する又は管理義務を負う者」） （金融計算する場合に当該者の年1月1日）を待てている者又は得る権利を受ける者 輸出管理の適正な実施及び弊所内への 的には、特定類型該当者に対する情報が「特定類型該当者に対する特定類型該当者に対する技術提供を」も含まれます。経済産業省へあるという情報が、経済産業省へ は、特定類型該当性の法的判断、		学位記
---	---	--------------

書類①～④を順に並べ、一つのPDFファイルに**統合して提出**
例：サンソウタロウ.pdf

42

公募要項の別添2「特定類型該当性に関する申告書提出のお願い」を確認後、ご記入ください。

氏名:

姓 ^{a1}	姓 ^{a1}		名 ^{a1}		性別 ^{a3} (男)
よみがな ^{a2} アルファベット					
氏名 ^{a1}					
生年月日 ^{a1}	(西暦) 年 月 日 (現住所) 例: 2007 年 4 月 1 日生	国 ^{a1}			
住所 ^{a1}	(電話番号) ^{a2} (現住所以外の場合) 〒 (電話番号) ^{a2}	・通称名・旧姓を利用中で、今後も利用されたい方は、括弧書きで戸籍上の姓を記載してください。^{a1} 例: 姓原 (戸籍: 科学) 花子^{a1} ・他の記載箇所は通称名のみでも結構です。^{a1}			
Ema ^{a1}	(PCのみ) ^{a1}				
学歴 ^{a1} (学号・専攻) まで記入 ^{a1}	(高校) ^{a2} (大学・大学院等) (学号・専攻・専攻まで記入) ^{a2}	(西暦) 年 月 入学 ^{a3} (西暦) 年 月 卒業 ^{a3}			
行方不明の場合は 別紙に記載 (様式自由) ^{a1}	(大学・大学院等) (学号・専攻・専攻まで記入) ^{a2}	(西暦) 年 月 入学 ^{a3} (西暦) 年 月 卒業 ^{a3}			
修士論文題目 ^{a1}	(西暦) 年 月 取得 ^{a3}	(西暦) 年 月 授与 ^{a3}			
修士号 ^{a1}	(西暦) 年 月 取得 ^{a3}	(西暦) 年 月 授与 ^{a3}			
博士論文 (取得済みの場合は、取得済 年・月及び博士 論文名(英)を 指導教員	(西暦) 年 月 取得 ^{a3}	(西暦) 年 月 授与 ^{a3}			
博士号 ^{a1} (取得済みの場合は、取得済 年・月及び博士 論文名(英)を 指導教員	(西暦) 年 月 取得 ^{a3}	(西暦) 年 月 授与 ^{a3}			
職歴 ^{a1}	(西暦) 年 月 開始 ^{a3}	(西暦) 年 月 終了 ^{a3}			
職歴研究在籍歴 ^{a1}	(西暦) 年 月 開始 ^{a3}	(西暦) 年 月 終了 ^{a3}			
行方不明の場合は 別紙に記載 (様式自由) ^{a1}					

※通称姓での在籍歴・有効・無効問わずある場合は、履歴書①の①と同じように記載のこと。^{a1}

(例)・産科医療センター技術研習員、産科研 ID: A12345^{a1}
・産科医療センター第二研究開発員(フェミニカルスタッフ)、産科研 ID: A12345^{a1}
・産科医療センター第一研究開発員(リサーチアシスタント-RA)、産科研 ID: A12345^{a1}
・産科医療センター技術研習員(学術振興研究員 DC1)、産科研 ID: A12345^{a1}

※別紙においては記載が求めない場合は、別紙(研究員/学生)記入欄に入力してください。

- ① 上記履歴票の記載事項は事実と相違はなく、記載内容が事実と相違した場合、または記載すべき事実を記載しなかった場合は、採用を取り消されても異状がないことを誓約します。⁶⁾
- ② 公募事項の③「応募要件」に記載の要件をすべて満たしていることを誓約します。⁶⁾
- ③ 採用に必要な場合は、産研研が現在及び過去の所属先に対して、以下の各事項について問い合わせ／照会を行うこと、及び、これらに対する回答を受け取ることについて同意します。⁶⁾
 - ・在籍歴の有無⁶⁾
 - ・在籍歴がある場合の勤務実態、退職理由、賞罰の有無、健康状態等⁶⁾
- ④ 採用された場合、産研研の諸規程、受入責任者の指示・指導、及び産研研イノベーションスクール事務局の指示・指導に従います。⁶⁾

(西曆) 年 月 日

(署名)

- 自筆署名のこと（タイプや貼り付け不可）
- この枠を削除し、印刷後の用紙に自筆署名の上、スキャンしてください。

類型① 外国法令に基づいて設立された法人その他の団体（その本邦内への支店、出張所その他の事務所を除く。以下「外国法人等」という。）又は外国の政府、外国の政府機関、外国の公共団体、外国の中央銀行並びに外国の政府その他の政治団体（以下「外国政府等」という。）との間で雇用契約、委任契約、請負契約その他の契約を締結しており、当該契約に基づき当該外国法人等若しくは当該外国政府等の指揮命令に服する又は当該外国法人等若しくは当該外国政府等に対して当該注意義務を負う者¹

(金銭換算する場合に当該者の年
いう。)を得ている者又は得るこ

頼を受ける者

輸出管理の適正な実施及び弊所内

①、②、③、④の
としてご提出くだ

二段階審査の流れ（２）



エントリー (Forms登録)

エントリーには産総研受入責任者の産総研IDが必要です。

11月24日（火）14:00〆切

審査用書類

翌日までに事務局
よりメール連絡

一次審査：書面審査

エントリー後に届くメールの指示に従い提出

様式①～③をPDコース公募サイト
よりダウンロードして準備

⇒④を含め1つのpdfに統合して提出

例：サンソウタロウ.pdf

最終提出期限：11/26

一次審査合格者のみに結果通知

最終通知期限：12/4

二次審査用書類提出

- ① 産総研受入責任者の受入承諾フォーム
- ① 履歴書（＊）
- ② 自己アピール票
- ③ 特定類型該当性に関する申告書（＊）
- ④ 博士の学位を証明する書類（学位記の写し等）、または取得予定証明書、
あるいは学位取得予定を記した指導教員署名入り書類（様式自由）（＊）
- ⑤ 面接審査プレゼン資料

＊は印刷・署名後pdf化

二次審査：面接審査

2026年12月9～16日（予定）の指定する日時

⑤のプレゼン資料を用いた**自己アピール（5分）** 及び**質疑応答（15分）**

産総研つくばセンターにて対面形式で実施

＊旅費の支給はありません。

（受入責任者についてのみオンライン参加可）

面接実施者に通知

可否通知

12月下旬予定

これまでの研究内容を端的に示すタイトル

ppt様式は公募サイトよりダウンロード可、面接審査における自己アピール（5分）で使用

これまでの研究内容（背景、課題、目的、研究成果等）を
図表等を用い1頁で記載

- ・ 日本語で作成してください。
- ・ 提出時は枠を全て消し、赤字を上書き（色は自由）してください。
- ・ ファイル名を「応募者カナ氏名」としたPDFファイル（10メガバイト以内）でご提出ください。例：サンソウタロウ.pdf

産総研で実施予定の研究課題名

PDコース採用後に産総研で
実施予定の研究内容について
図表等を用い記載

今後の展望

イノベーションスクールへの志望動
機、企業研修に対する希望、
今後のキャリアパス（イノスク修了
後～数年先の展望を含めること）等
について記載（図表利用可）

公式ウェブサイト

産総研イノベーションスクール

検索



問合先

若手研究人材育成事務局
school-saiyou-ml@aist.go.jp

こんな方におすすめ

- ・ 研究力・連携力・人間力を高めたい方
- ・ 将来の進路やキャリアを幅広く検討したい方
- ・ 国立研究所の研究環境に関心のある方
- ・ 分野横断的な交流に関心のある方

PDコース公募説明会

9/14 (月)

10/5 (月)

10/26 (月)

全日 14～15時
オンライン (Teams)

事前申し込み不要
公募サイトよりアクセス

ご聴講ありがとうございました

質問がございましたら
手を挙げる、もしくはチャット
にご入力ください

問合先

若手研究人材育成事務局
school-saiyou-ml@aist.go.jp